

言葉のバトンで明るい社会へ

たむら かんて
田村 楓

私が社会を明るくするために必要なだと思ふ

ことは三つあります。

一つ目は、あいさつです。私は、登校中に

毎日のようにあいさつをしてくれる近所のお

ばあさんにあいさつをされた時にむしをして

しまいました。私はその時、どうすれば良か

たのかずつとモヤモヤしていました。毎日の

ようにあいさつをしてくれるのはなんでなの

か知りたくなり、家に帰ってからばあちゃん

に聞きました。

「いつもあいさつをしてくれる人がいるけど

あいさつの大切さを教えてほしい。」

と言っ、たらすぐに教えてくれました。

「あいさつの大切さは人間関係をよくできる

からだよ。」

と言っ、てくれました。私は、あいさつの大切

さを少し知れました。その後、ばあちゃんが

たくさん話をしてくれました。そのおかげで

あいさつの大切さに気がきました。

次の日のあさに、登校中に近所のおばあさ

んに会いました。きのう、ばあちゃんに言わ

れたことを思い出して、勇気を出して声をか

けました。

「おはようございます。」

と、自分から進んで言えました。おばあさん

も、

「おはよう。」

と返してくれて、うれしかったです。いつも

より何倍も気持ちのよい朝になりました。

二つ目は、感謝の気持ちです。感謝を伝え

るとあいさつをされた側もした側も気持ちがあ

良くなれるからです。私は、相手に感謝をさ

れたらやってよかったです。うれしいことが返

え、てくるので、必要だと思いました。

三つ目は、思いやりです。自分で身の回り

を見て行動し、こまづいている人がいたら助け

るなどの工夫をしていきたいです。ある日の

授業中にプリントを取りに行、た時に列にな

うんでいる時に友達が、

先にならんでいいよ。

と声をかけてくれました。私は、あよっとし

たことでも、思いやりの心を持ちたいなと思

えました。

この三つを通して、大切さを学び、これか

りも、あいさつ、感謝の気持ち、思いやりを

わすれずに、みんなをまとめて協力したいで

す。だれにでもあいさつができる人、だれに

でも感謝の気持ちを持ちてる人、だれにでも

思いやりができる人になるためには、もっ

何が必要なのかを経験していきたいです。

これから、だれもが明るくい毎日を送れる

ように、自分達でできることを見つけてい

ずつ明るくい社会にできるようにしていきたい

し、みんなで協力した結果を出したいです。

私たちみんなで力をあわせて社会を明るく

するというテーマに等しくなれる存在になれ

たりいと思うし、自分自身が身の回りを

ることを中心にしてこれからもみんなで協力

を
し
て
い
き
た
い
で
す。